

## 海外図書館事情調査について

2011年度研究助成（2010年度募集）から、「個人研究」「共同研究」「機関研究」「課題研究」の4つの研究形態に加えて、「海外図書館事情調査」（助成額60万円）を新規に採用いたしました。近年の各分野におけるグローバル化、国際的な事例や基準などについての調査研究を主目的としています。

「海外図書館事情調査」は、数ヶ国、数ヶ月に及ぶような比較的長期間の海外事情調査などに対して助成金を交付するもので、国際図書館協力委員会による「海外集合研修」、「海外派遣研修」、「海外認定研修」と併行して実施される海外研修・研究助成プログラムのひとつです。

海外では図書館職員が、各種の団体や機関からの補助や助成金等を利用して、国際的な会合や会議、大会に参加することができるのに比して、日本ではそうした制度が少なく、かつ個々の大学図書館では海外調査・情報交換のための資金援助が得られにくい状況があるため、私立大学図書館協会が助成を行い、その状況に対応しようとするものです。

募集にあたって、下記のような調査・研究を想定しています。

### 【ヨーロッパ各国の図書館建築の動向】

- ・調査対象：ヨーロッパ各国立図書館、大学図書館
- ・旅程：日本→ドイツ→ロンドン→日本

### 【アメリカ合衆国・カナダの大学図書館における学生支援の実態】

- ・調査対象：アメリカ・カナダ国内の州立・私立大学図書館
- ・旅程：日本→ロサンゼルス→シカゴ→ニューヨーク→トロント→日本

### 【中国における大学図書館のネットワーク事情】

- ・調査対象：中国内の大学図書館
- ・旅程：日本→北京→上海→香港→日本

### 【アジア諸国の大学図書館員の専門職としての状況】

- ・調査対象：アジア圏の大学図書館
- ・旅程：日本→ソウル→北京→バンコク→シンガポール→日本

### 【上記のような調査研究を目的とした国際会議へ出席】

- ・IFLA（国際図書館連盟）年次大会、ALA（米国図書館協会）年次大会参加等
- ・旅程：日本→開催地等→日本